

## 謝 辞

吉 武 進 也

本日は、こんなに、多数の方々がお忙しい所、お出で頂き有難うございました。  
大変、恐縮至極で、厚くお礼を申し上げます。

上智大学学長の石澤良昭先生

経済産業省技術協力課の竹上嗣郎さま

経済産業省アジア大洋州課の横田光弘企画官の代わりの係長の高瀬可愛さま

ホテルニューオータニの常務取締役の清水 肇さま

営業本部長の横山公由(まさゆき)様

ニューオータニイン東京 取締役総支配人の鈴木俊哉さま

わざわざご出席賜り、深く感謝を申し上げます。

司会者からお話がありましたように、私は、運が良いと言うか、通商産業大臣表彰、  
藍綬褒章受賞、民間人として少ない叙勲の栄に浴しましたが、これらは、履歴書・功  
績書に目を通し、個人の業績として、事前に承知しておりますが、今回は、突然に、カ  
ンボジア王国から勲章を授けるので、授与式にお出で頂きたいとのことでした。

この勲章の授与は、この3年間に経済産業省のご援助・ご支援で行いましたグリーン  
テクノロジー研修の功績・貢献によるものと言うことでした。

と言うことは、私個人の問題でなく、経済産業省、そして(社)日本技術士会の都丸会  
長を始め歴代会長、執行部・事務局、更に、研修のために大変なご努力頂いた、カン  
ボジア王国技術協力フォーラムのメンバーの方々のお陰であります。

フォーラムのメンバーの名簿は、この報告書の8頁に記載されております。

(社)日本技術士会のためのみに活動して、叙勲の栄に浴したのは、日本・外国を含めて初めてと言われましたので、非常に光栄なことと存じます。

グリーンテクノロジー研修の内容については、フォーラムの皆様、特に代表世話人の小野さん、神戸さん、高城さん、堀川先生、秋山さんなどが、今日お配りした資料の如く立派に纏めて頂きましたので、司会者から、貴方は説明の必要は無い、お礼だけを述べて頂ければ良いとの指示でございましたので、省略させていただきます。

従って、本夕は、二期会のソプラノ歌手加藤江美女史、ピアニストの法領田れい子女史もお祝いにお出で頂き、音楽でお祝いをして頂けることですので、大いに楽しんで頂きたいと存じます。

最後に、なぜ、カンボジア王国で研修かと聞かれますが、全くのこれまた運命でございます。

2002年3月に家内とカンボジアのアンコールワット見学に行きました時に、石澤先生と偶然にも、バンコックからの航空機で一緒でした。

先生のお話が大変有益でしたので、是非、(社)日本技術士会でお話頂きたいとお願い申し上げたら、たちどころに手帳をご覧になって、今年の12月17日に、ここ現地の上智大学の研究所で行いましょうと言われたのです。

帰国して、梅田会長の時代に、ミャンマー訪問を薦められ、お世話になった、経済産業省のアジア大洋州課長の藤田さんにお話したら、(社)日本技術士会が行かれるなら、便宜供与をして頂き、日本大使館の小川郷太郎大使、JICA 力石所長及び経済産業省のカウントパートのカンボジア王国の鉱工業・エネルギー省ハル副大臣を始め公共事業・運輸省などで(社)日本技術士会の活動を説明することが出来ました。

JICA の力石所長は、昔のカンボジア大使の息子さんで、佐藤 清元会長が JICA の理事の時の課長で、お陰で大変に好意的で、昨年 12 月にお会いした時に、もう 3 年 8 ヶ月カンボジアにおりますが、このように元気になっていると佐藤様にお伝え下さいとの伝言を頼まれました。

この結果、カンボジア王国政府から経済産業省に正式な研修の依頼があって、経済産業省のご指示で、急遽堀川浩甫先生、高城さん、小野さんらが中心となって立案したのが、3 年間のグリーンテクノロジー研修で、これが経済産業省に取り上げられ今日に至ったのです。

2003 年の 11 月に突如、竹上様の前任の石崎様から直ぐに研修を行って頂きたいとの要望があって慌てた次第です。

中川経済産業大臣が 2004 年の 1 月にカンボジアを訪問して、フンセン首相へのお土産にこの研修も技術援助の一環として入っていることでした。

従って、急遽 1 月実施に堀川浩甫先生、小野さん、高城さんなどフォーラムの方々が間に合わせた次第です。

このようなことがあったお陰で、3 回の開講式には、日本大使館、JICA の方がお出でになって、ご挨拶を頂くことになった次第です。

これをカンボジア王国側、特に鉱工業・エネルギー省の副大臣は、高く評価して頂いてる次第です。

最初は、プノンペンの事情は、私どもは、全く分からなかったもので、今日、ご出席の JHC の内田さんには、大変お世話になりました。

結局、石澤先生にお会いしたことが、カンボジア王国の勲章に結びついた次第です。

また、日本工営の責任者溝辺哲男様、あとを継がれた吉田克己様のご好意で、プレゼンテーション、研修を行われた秋吉博之様、長谷川孝道様、現地でお世話になった江川 等様、岩淵雅博様など、それからミャンマー視察の時には、小林洋一様と言うように、日本工営の皆様には大変お世話になりました。

このような次第で、ご出席の皆様方に本当に、お世話になり、感謝しきれないものがあります。

本日は、本当に有難うございました。